

令和5年度 再評価調書

事業名	基幹農道整備事業	ふりがな 地区・路線名	かつうらなんぶかみき 勝浦南部上3期
事業主体	徳島県	関係市町村	勝浦町
事業概要	<p>(事業目的) 本地区は勝浦川流域の樹園地を主体とした中山間地域に位置し、みかん栽培を中心に営農が行われているが、地区内の道路は幅員が狭小な町道等が数本あるのみで、農家は営農に多大な不便を余儀なくされている。本農道を整備することによって営農労力の節減及び走行経費の節減等を図り、農業経営の近代化を進めることを目的とする。</p> <p>(事業内容)            受益面積 113ha            受益戸数 81戸            主要工事 農道工1, 100m 全幅員5.0m(車道幅員4.0m)            総事業費 1,222,645千円(国50%:県40%:町10%)            工期 平成26年度～令和10年度</p>		
	評価	<p>(事業の進捗状況) 令和4年度末までに延長L=551mの整備を完了している。 令和5年度末までの進捗率は事業費ベースで45%となる。</p> <p>(関連事業の進捗状況) なし</p>	
評価項目		<p>(社会経済情勢の変化) 農業従事者の高齢化、後継者不足等により地域農業を取り巻く状況は厳しく、輸送体系の合理化による営農労力の節減を図り、農業経営の近代化が急務となっている。 一方では、道路等の社会資本整備が十分でない中山間地域にある本地区では、緊急時のライフラインとして、集落の孤立化防止や緊急輸送路を補完する機能を有する本農道の整備は、一層重要なものとなっている。</p> <p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) なし</p>	
	評価項目	<p>(事業効果の発現状況)            1 農道整備により、農産物や資材等の運搬に係る車種転換が図られ、輸送効率化に貢献している。            2 木材輸送、林地への通勤等の林業交通の走行経費が節減され、山林経営の合理化に寄与する。            3 総費用総便益比=総便益/総費用=1.05</p> <p>(受益農家、関係機関の意向) 関係市町、地元農家から、早期完成を強く要望されている。</p> <p>(事業の実施方針) 継続して事業を実施する。</p>	